



やむなく中止 再開願う市民の声

上福岡七夕まつり おおい祭り

新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、参加者や来場者の健康や安全を第一に考えた結果、今年もやむなく中止が決定されました。「来年こそは」と、お祭りの再開を願う市民にインタビューしました。

議会の一言

お祭り中止の代替案として、竹飾り掲出の予算措置を評価する。

コロナ禍においては、地域の伝統を引き継いでいくことは大変な労力を伴うと思うが、代替案の更なる検討や、感染症対策を講じたお祭り開催の検討など、市が積極的に実行委員会を後押しし、来年こそはぜひ開催してほしい。



ほしの まゆこ
星野麻由湖さん

毎年フラダンスでの出演を楽しみにし、心のふれあいを大切にしてきました。ハワイ語でオハナは家族、仲間の意味。フラを通して地域のみなさんとオハナになれます。来年は素敵なオハナのいる場所で開催を願っています。



いべとしこ
井部稔子さん

いべまさお
井部正男さん

お祭りができないと活気がなくなってしまうから、なんとか存続させたいね。街の人にも楽しみにしてますよって声を掛けられます。(正男さん) 竹飾りは娘時代からの行事でもう50年以上やっています。再開されたら、また頑張りますよ。(稔子さん)



かなざわしょうこ
金沢正子さん

中止は本当に残念です。でも来年はきっと再開できるでしょう。ふるさとをつなぐ子どもの祭りにするために、五所川原立佞武多へ行つて、山車を習ってきました。ふじみんのチビねぶたを次のおおい祭りでぜひやりたいですね。



なかほ ゆかり
中窪由香里さん

お囃子で参加していました。お囃子はそれぞれの地域のもの。高齢化も進み、地域の夏祭りと同じ時期におおい祭りに参加する負担もありました。今後、地域の伝統をどんな形でつないでいくか考える機会になればと思います。